

◆主 題 名

地域の行事の大切さ

リ
ン
ク

内容項目	C -12	社会参画、公共の精神
教材名・出典	「和樹の夏祭り」：中学校心の元気Ⅱ（広島県教委）	
本時のねらい	地域の行事に対して受動的ではなく、能動的な態度で参加する態度を養う。	
生徒の実態を把握するために必要なアンケートの内容	（※米多浮立に参加経験のある生徒の把握と内容聞き取り）	

中心となる発問を主題につなげるために必要な発問

- ① 夏祭りの楽しみって何？
- ② 地域の夏祭りの中止を聞いて、和樹はどんなことを考えただろう？
- ③ 「こっちのセリフじゃ」とは、和樹のどんな気持ちを表しているのだろうか？

◆ テーマ
(中心となる発問)

剛にあって和樹にないものは何ですか？

ねらいとする価値に迫るために・・・

◆学び合う
活動のねらい変容をねらう 多様さに気づかせる 考えを深めたり広げたりする
その他（ ）

ねらいを達成するための手立て

- | | | | |
|--------|-----------|-------|----------|
| 1 心情円盤 | 2 ネームプレート | 3 付箋紙 | 4 心のものさし |
| 5 ICT | 6 その他（ ） | | |

学び合う活動のスタイル

- | | | | | |
|------|------|------|------|----------|
| 1 Pw | 2 Gw | 3 Fw | 4 Cw | 5 その他（ ） |
|------|------|------|------|----------|

◆最後の振
り返し

この時間を通しての「本音」が聞けるように！

授業後の反省

○最初、内容項目をC-（16）郷土の伝統と文化の尊重で扱ったが、自分たちで行う地域の祭りを体験していない生徒たちには実感のないものだったので、ローテーション2から変更した。

○「俺らの祭り」ではなく、「こっちのセリフじゃ」という言葉に着目させたが、生徒たちには難しい設問になった。

○設問③でFwの活動を取り入れた。スムーズだったと思う。